

平成26年度 事業報告書

特別養護老人ホーム笑寿苑・・・・・・・・P1
養護老人ホーム宇寿荘・・・・・・・・P6
デイサービスセンター愛あいの家・・・P8
ヘルパーステーションかも・・・・・・・・P10
加茂デイサービスセンター・・・・・・・・P12
デイサービスセンターほほえみ・・・P14
かも福祉会居宅介護支援事業所・・・P16
かも社会就労センター・・・・・・・・P18
かもてらす・・・・・・・・P21

社会福祉法人かも福祉会

社会福祉法人かも福祉会 平成 26 年度事業報告

法人全体の取り組み

- (1) 新会計基準への移行
- (2) 社会福祉法人かも福祉会設立 10 周年記念式典の挙

特別養護老人ホーム笑寿苑

(I) 第一種社会福祉事業

- (1) 特別養護老人ホーム「笑寿苑」事業 入所定員 長期入所 70 名・短期入所 10 名
ア) 入居者等の状況 (平成 27 年 3 月 31 日現在)

出身地	小計	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	
雲南市	加茂町	37	1	4	8	8	16
	大東町	24		1	4	7	12
	木次町	1					1
	三刀屋町	4			1		3
	掛合町	1					1
	吉田町	1					1
	江津市	1					1
松江市	1					1	
合計	70	1	5	13	15	36	

イ) 入居者の年齢構成 (平成 27 年 3 月 31 日現在)

100 歳以上	3 名
90 歳～99 歳	22 名
80 歳～89 歳	36 名
70 歳～79 歳	9 名
60 歳～69 歳	0 名

最高齢 105 歳、 平均年齢 87.2 歳【87.3 歳】、平均介護度 4.14【4.03】

ウ) 年度中の入居者移動状況

入苑者数	14 名	【22 名】
退苑者数	13 名	【19 名】

工) 短期入所利用者数

月	利用者数	利用延べ日数	稼働率
4月	37人	280日	93.3%
5月	40人	299日	96.5%
6月	41人	303日	101.0%
7月	38人	289日	93.2%
8月	36人	291日	93.9%
9月	38人	285日	95.0%
10月	41人	311日	103.7%
11月	40人	289日	96.3%
12月	37人	305日	98.4%
1月	38人	307日	99.0%
2月	38人	282日	100.7%
3月	40人	271日	87.4%

平均稼働率 96.2%【97.5%】

オ) 職員配置数

職 種	員数	正規職員		臨時 嘱託
		専従	兼務	
施設長	1	1		
事務職員	4	1	3	
介護支援専門員	1			1
生活相談員	1	1		
看護職員	6	3		3
介護職員	40	32		8
管理栄養士	1		1	
介助員	2			2
夜間警備員	3			3
合 計	59	38	4	17

カ) 事業収入

①笑寿苑 (単位: 千円) 前年対比 : 101.8% 計画対比 : 103.1%

	介護報酬	利用者負 担金	居住費補 足給付	居住費利 用者負担	食費補足 給付	食費利用者 負担	合 計
平成 25 年度	204,697	22,528	7,645	13,194	21,087	12,310	281,461
計 画	202,691	22,188	7,523	12,610	20,563	12,223	277,798
平成 26 年度	208,552	22,815	8,401	12,900	22,061	11,801	286,530

②短期入所 (単位: 千円) 前年対比 : 98.5% 計画対比 : 100.9%

	介護報酬	利用者負 担金	滞在費補 足給付	滞在費利 用者負担	食費補足 給付	食費利用者 負担	合 計
平成 25 年度	26,814	2,979	493	3,761	641	3,729	38,417
計 画	26,478	2,926	451	3,467	624	3,572	37,518
平成 26 年度	26,508	2,945	231	3,795	313	4,065	37,857

キ) 行事・事業の実施状況

- 4月 レントゲン撮影、花見ドライブ
- 5月 家族会総会 (清掃奉仕作業)

- 6月 笹巻き作り、松江フォーゲルパーク見学
- 7月 避難訓練、夏祭り
- 8月 七夕会
- 9月 敬老祝賀会、選択食、かも福社会 10周年記念式典
- 10月 中学生職場体験、ふれあい祭り、運動会
- 11月 和菓子作り、加茂小学校お茶クラブ、焼き芋作り
- 12月 忘年会、加茂小学校お茶クラブ、クリスマス会
- 1月 新年会、ホームケア実習生受け入れ
- 2月 節分祭、おやつバイキング
- 3月 ひな祭り会、避難訓練、第14回気づきを築くユニットケア全国セミナーにて事例発表

※ちょっこし外出～随時

※笑笑（にこにこ）便り 年4回発行

ク) 各種研修会及び会議への出席状況

- ・認知症介護実践研修
- ・栄養士研修
- ・ユニットリーダー研修
- ・施設外研修 合計 37回
- ・リスクマネジメント研修
- ・ケアマネ研修
- ・身体拘束廃止（権利）研修

職員会、主任者会 毎月
事業所連絡会 毎月

リハビリ指導 隔月1回
各種委員会 随時

【考 察】

①収入について

事業収入は、全体では 315,316 千円の計画に対し、324,387 千円であった。

(前年対比 101.4%) (計画対比 102.9%)

今年度、長期実績では計画・昨年度対比共に大きく上回ることが出来た。これは、嘱託医の先生を中心に看護・介護職員の連携が強化され、利用者に対して日常の健康管理が適切に行われていたものと考えられる。

短期入所は計画対比では若干上回ってはいるが、前年実績には及ばなかった。この要因については、重度（要介護度 4・5）の方の利用が減少していることや入院等での突然のキャンセルが影響したものと考えられる。今後、更なる居宅介護支援事業所との連携強化を図りながら、利用者の増加を目指して収入の安定につなげたい。

②感染症について

今年も全国的にインフルエンザやノロウイルス等の感染症が猛威を振っている。当苑も、3月中旬よりインフルエンザが蔓延してしまった。最終的には利用者 4 名、職員 7 名の合計 11 名が発症した。雲南保健所にも早めに報告して消毒方法等の指導を受け、感染拡大防止に努めた。今後も感染症対策委員会を中心として対策強化を図っていく。毎年のことだが、まずは職員自身が感染しないように、手洗い、うがい、消毒、マスクの着用を励行し、感染症予防と対応に努めていきたい。

③施設サービスについて

今年度も第 3 回笑寿苑実践研究発表大会を行った。各通り（ユニット）毎にそれぞれテーマを決めて、取り組んだことを発表することが出来た。この取り組みを実践することで、日々の目標が明確になり、職員間あるいは多職種の連携も強化することができる。これからも定期的を開催することで、今までのケアを振り返りながら職員個々のレベルアップを図り、施設サービスの向上につなげたい。

④家族会行事について

計画した奉仕作業・夏祭り・敬老祝賀会を順当に実施できた。

苑から出掛ける“ちょっこし外出”の企画では自宅に帰り、家族や近隣の皆さんと一緒に過ごすことが出来て、利用者や家族に大変好評をいただいている。

⑤実習生・ボランティア・地域交流について

専門学校生や研修機関の実習生受け入れを積極的に行ったが、明らかに実習依頼が激減している。これは“介護離れ”を意味しており、当事業所だけでなく、介護業界全体の問題として取り組む必要があると考える。

⑥ターミナルケアについて

施設で最期まで看取った方は7名（13名中）であった。半数以上の方を施設で看取っており、今後医療・看護・介護の連携を密にして体制を整えたい。

⑦資質向上の取り組みについて

施設内・外部研修に積極的に参加した。また、今年も「気づきを築くユニットケア全国実践者セミナー」（神戸市）において、当苑の取り組みについて発表を行った。

これからも引き続き施設内・外部研修および施設間交流に積極的に参加し、職員の資質向上につなげたい。

※平成26年度資格取得者

- ・介護支援専門員（ケアマネージャー） 1名
- ・介護福祉士 1名

⑧今後の課題

平成27年度介護報酬改定により、施設・在宅サービスを合わせた全体の改定率はマイナス2.27%で、特別養護老人ホームの基本報酬は約6%と大幅に下がった。

今後は経営（管理）者だけでなく全ての職員が経営的な視点を持ち、収入の確保や諸経費の削減、人材確保・定着にいかにも有効な手立てを打つことができるかどうか重要である。

養護老人ホーム宇寿荘

(I) 第一種社会福祉事業

(2) 養護老人ホーム「宇寿荘」事業 入所定員 80 名

ア) 入所等の状況 平均介護度 2.1 (前年度 2.3)

出身地	小計	非該当	要支援	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
雲南市	69	23	11	19	5	7	4	
松江市	1						1	
出雲市	3	2			1			
安来市	1					1		
奥出雲町	3	1			1			1
合計	77	26	11	19	7	8	5	1

イ) 入所者の年齢構成 平均年齢 85.8 歳

90 歳以上	24 名
85 歳～89 歳	27 名
80 歳～84 歳	9 名
75 歳～79 歳	9 名
70 歳～74 歳	3 名
69 歳以下	5 名

ウ) 年度中の入所者の移動状況

	入所者数	退所者数	平均入所数	稼働率
平成 25 年度	10 名	11 名	78.5 名	98.1%
平成 26 年度	13 名	13 名	78.3 名	97.9%

エ) 事業収入等

①事業収入(単位：千円) 前年対比 101.7% 計画対比 102.9%

	居宅介護料	措置費収入	短期入所	雑収入他	合計
平成 25 年度	64,429	146,219	142	637	211,427
予 算	63,396	145,187	158	233	208,974
平成 26 年度	65,199	149,269	103	499	215,070

②外部サービス利用状況 (延べ)

	利用人数	利用人数 (月平均)	利用回数	利用回数 (月平均)	前年対比 (収入)	計画対比 (収入)
基本サービス	477	40	14,854	1,238	101%	106%
訪問介護	459	38	19,920	1,660	96%	95%
通所介護	68	6	491	26	164%	157%
認知症通所	254	21	2651	220	100%	104%
福祉用具	167	14	499	41	108%	107%
訪問リハ	43	4	322	27	111%	105%

③短期入所利用数（雲南市受託事業）

・利用者1名、延べ利用日数13日

オ) 職員配置数

職 種	員数	正規職員	臨時
施設長	1	1	
生活相談員	3	3	
事務職	2		2
看護職員	1	1	
支援員	13	8	5
介助員	1		1
管理栄養士	1	1	
夜間支援員	3		3
合 計	25	14	11

カ) 行事・事業の実施状況

4月	桜花見	10月	交通安全指導、秋季遠足
5月	交通安全指導、節句	11月	運動会、収穫祭、避難訓練
6月	創立記念日、家族会、健康診断	12月	クリスマス会、歳末法要、忘年会
7月	避難訓練、納涼祭	1月	新年祝賀会
8月	盆法要、七夕祭り	2月	節分、鍋会食、健康診断
9月	敬老祝賀会、彼岸法要	3月	ひな祭り、彼岸法要

*その他、誕生会・健康体操・各クラブ活動は毎月実施

キ) 研修参加状況

職場外研修合計 34回 延べ40人参加

【考 察】

① 経営基盤の安定について

- ・介護保険収入は前年対比 101.2%、計画対比 102.8%で支給限度額に対する利用率は 76.7%であった。通所介護（外部サービス）の利用回数の増加が増収の要因である。
- ・措置費収入は前年対比 102.1%、計画対比 102.8%であった。平均稼働率はほぼ前年並みであったが、消費税に対応した措置費の改定などが増収の要因である。
- ・老朽化対策で計画的に修繕を行った。また全職員が経費節減の目標を掲げ無駄な支出を抑えた。

② 利用者の生活の質向上について

- ・個別支援への取り組みを実践し、老施協中国地区研修大会で発表の機会をいただいた。今後継続するためには傾聴と専門性に基づいた根拠のある個別ケアの実践が必要である。
- ・家族会、広報の発行、定期連絡などでご家族へ呼びかけをして来荘頻度を増やし、ご家族との連携強化と利用者の精神の安定につなげた。

③ 地域連携及び地域貢献について

- ・地域交流会やボランティアなどの受け入れで地域との連携を図った。今後地域貢献活動を実践するうえで、施設機能の地域開放が課題である。

④ 業務改善とリスクマネジメントの構築について

- ・全職員が「一人一改善」に取り組み、業務改善を行った。
- ・利用者の健康管理と感染症予防を実践し、感染症の発生率低下につなげた。

⑤ 人材育成の強化について

- ・個人面談で個人目標の確認と評価を行いフィードバックした。
- ・認知症及び知的障害者への対応と、感染症予防を重点に外部研修に参加した。
- ・資格所得のために個人目標を明確にして勉強会を実施した。

デイサービスセンター愛あいの家

第二種社会福祉事業

(3) デイサービスセンター愛あいの家 開設日数 256日・利用定員 12名

ア) 介護保険事業状況

年 度	延べ利用者数	月平均利用者数	延べ利用回数	月平均利用回数
平成 25 年度	254 人	21.2 人	2,650 回	220.8 人
平成 26 年度	260 人	21.7 人	2,651 回	220.9 人

イ) 介護度別利用回数 (1日平均)

年 度	要支援	要介 1	要介 2	要介 3	要介 4	要介 5	合計	平均介護度
平成 25 年度	0.1	3.3	1.7	4.2	1.1	0	10.4	2.3
平成 26 年度	0.1	3.6	2.5	2.4	1.7	0	10.3	2.2

ウ) 介護事業収入 (単位:千円) 前年対比 99.6% 計画対比 103.3%

年 度	外部受託金	雑収入	合 計
平成 25 年度	25,363	0	25,363
予 算	24,446	0	24,446
平成 26 年度	25,263	0	25,263

エ) 事業の実施報告

① 行事・事業の実施報告

4 月	花見ドライブ	10 月	調理レク (おやつ作り)
5 月	園芸週刊	11 月	秋の運動会・紅葉ドライブ
6 月	端午の節句 (笹巻団子作り)	12 月	忘年会・鍋会食・クリスマス会
7 月	行事食 (団子汁作り)	1 月	新年お茶会
8 月	七夕祭り会	2 月	節分
9 月	敬老会 (宇寿荘合同)	3 月	ひな祭り

② 各種研修会 及び会議への出席状況

○ 研修会

- ・雲南地域通所介護部会研修 4回
- ・苦情解決研修 1回
- ・事業者管理者連絡会総会 1回

○ 会議

- ・サービス事業所連絡会～12回
- ・職員会議～12回
- ・運営会議～10回

【考察】

- ① 安定した経営基盤の確保について
 - ・宇寿荘との連携を強化することで、利用回数を前年並みに維持した。
- ② 職員の資質向上について
 - ・多様化する認知症高齢者のニーズへ対応するため内外研修に参加し、業務を振り返り改善した。
- ③ 地域交流の促進について
 - ・宇寿荘と連携し、施設体験実習の受け入れを積極的に行い地域との関係づくりをした。
- ④ 介護事故防止について
 - ・利用者の心身の状態に合わせて個別支援を実施し、また施設内の環境整備をして事故防止対策を実践した。
- ⑤ 感染症予防について
 - ・全体研修を受け、衛生管理と感染症対策を徹底し、職員、利用者ともうがい・手洗い消毒を励行し、感染症の発症を防止した。

ヘルパーステーションかも

ヘルパーステーションかも

ア) 介護保険事業状況 (365日) 前年対比105.1% (提供回数)

年 度	給付名	利用者数	延べ提供回数	1月利用者	1人提供回数	1月訪問回数	1日訪問回数
25年度	介護	209人	4,868回	17.4人	23.3回	405.7回	13.3回
	予防	76人	461回	6.3人	6.1回	38.4回	1.3回
	合 計	285人	5,329回	23.7人	18.7回	444.1回	14.6回
26年度	介護	238人	5,176回	19.8人	21.7回	431.3回	14.2回
	予防	85人	426回	7.1人	5.0回	35.5回	1.2回
	合 計	323人	5,602回	26.9人	17.3回	466.8回	15.3回

イ) 介護度別利用者数 前年対比113.3%

年 度	要支1	要支2	要介1	要介2	要介3	要介4	要介5	合 計	平均介護度
25年度	34	42	46	47	32	64	20	285	2.08
26年度	35	50	72	66	21	65	14	323	1.85

ウ) 障害者自立支援 前年対比88.5% (利用回数)

年 度	利用者数	利用回数	1月訪問回数	1月利用者	1人利用回数
25年度	137人	1,548回	129.0回	11.4人	11.3回
26年度	132人	1,370回	114.2回	11.0人	10.4回

エ) 生活管理指導員派遣事業 前年対比109.2% (利用回数)

年 度	利用者数	利用回数	1月訪問回数	1月利用者	1人1月回数
25年度	30人	228回	19.0回	2.5人	7.6回
26年度	33人	249回	20.8回	2.8人	7.5回

オ) 事業収入 計画対比119.6% 前年対比103.1% (単位:千円)

年 度	介護報酬	利用者負担	障害者自立支援	生活管理	外部受託金他	合 計
25年度	14,594	2,162	7,428	488	3,931	28,603
予 算	13,133	1,470	5,981	386	3,685	24,655
26年度	16,050	1,783	6,588	533	4,541	29,495

カ) 研修会・会議出席状況

① 会議

・雲南地域訪問介護部会	7 回	・事業所連絡会	11 回
・ヘルパーミーティング	12 回	・運営会議	8 回
・雲南市ケア会議	3 回	・他	14 回

② 研修会

・交通安全研修	11 名	・認知症研修	14 名
・口腔研修	9 名	・コンプライアンス研修	9 名
・同行援護研修	2 名	・リスクマネジメント研修	7 名
・救急救命講習	9 名	・感染症研修	12 名
他	5 回	9 名出席	

職員配置状況 (平成27年3月31日現在)

課長(管理者兼務)	サービス提供責任者	訪問介護員	登録ヘルパー (パート)
1名	3名	1名	10名

【考察】

- ① 介護保険事業は軽度介護利用者が多いですが、利用者数は増加のため訪問回数も増えて事業収入は増加した。
- ② 自立支援は利用者死亡や入院等で利用者数が減少したため収入減となった。
- ③ 生活管理指導員派遣事業は、利用者の入院や自立により利用者の減少傾向が続いている。
- ④ 外部サービスは宇寿荘と連携を図り積極的に訪問した。
- ⑤ 利用者へアンケートを実施し、年1回広報誌を発行した。
- ⑥ 毎月ヘルパーミーティングを行い情報共有を図った。
- ⑦ 登録ヘルパーの確保や職員の勤務時間を変則制としスムーズな訪問対応に努めた。
- ⑧ 研修への参加で職員の資質向上に努め、実習生の受け入れも積極的に行った。
- ⑨ 職員との面談や「自己評価」の実施でケアの見直しや職員の思いを把握し共有する事で利用者に合ったケアの実施に努め、次年度に向けた計画を立てることができた。

加茂デイサービスセンター

加茂デイサービスセンター 開設日308日・利用定員35名

ア) 介護保険事業状況 前年対比96.6% (利用回数)

年 度	給付名	利用者数	延べ利用回数	1月利用者	1人提供回数	1月提供回数	1日利用者数
25年度	介 護	762人	7,427回	63.5人	9.7回	618.9回	24.1人
	予 防	234人	1,286回	19.5人	5.5回	107.2回	4.2人
308日	外 部	43人	377回	3.6人	8.8回	31.4回	1.2人
	合 計	1,039人	9,090回	86.6人	8.7回	757.5回	29.5人
26年度	介 護	774人	6,850回	64.5人	8.9回	570.8回	22.2人
	予 防	244人	1,391回	20.3人	5.7回	115.9回	4.5人
308日	外 部	68人	541回	5.7人	8.0回	45.1回	1.8人
	合 計	1,086人	8,784回	90.5人	8.1回	732.0回	28.5人

イ) 介護度別利用者数 前年対比104.5%

年 度	要支1	要支2	要介1	要介2	要介3	要介4	要介5	合 計	介護度
25年度	90	154	339	245	102	54	55	1,039	1.56
26年度	75	183	346	266	73	91	52	1,086	1.59

ウ) 介護事業収入 計画対比97.5% 前年対比100.2% 単位:千円

年 度	介護報酬	利用者負担金	食費等負担金	外部受託金・広域拡大	合 計
25年度	67,716	7,512	6,240	2,384	83,852
予 算	69,990	7,787	6,174	2,223	86,174
26年度	67,009	7,420	5,672	3,909	84,010

エ)事業の実施状況

① 行事・事業の実施状況

- 4月：花見ドライブ・外出(花回廊)
 - 5月：園芸・外出(由志園)
 - 6月：笹巻作り・外出(堀川遊覧)
 - 7月：二十三夜祭・外出(堀川遊覧)
 - 8月：七夕まつり
 - 9月：敬老会・ドライブ
 - 10月：運動会・外出(出雲大社)
 - 11月：紅葉ドライブ・外出(由志園)
 - 12月：忘年会・鍋会
 - 1月：初釜・初詣ドライブ
 - 2月：節分
 - 3月：おやつ作り
- 実習 トリニティカレッジ出雲医療福祉専門学校 2人
 職場体験 雲南市中学生 2人

② 各種研修会及び会議への出席状況

- 研修会

- ・通所介護部会研修（雲南） 2回（県）1名
- ・通所介護交流研修 2名 ・認知症実践者研修 1名
- ・中堅職員、管理職員研修 各1名
- ・老施協 県、中国大会 各1名
- ・他感染症予防、接遇、レク研修会等 6回

○会議

- ・職員会議、レク会議、ケース検討会 毎月1回

職員配置状況（平成27年3月31日現在）

課長(管理者兼務)	係長(看護・機能訓練・口腔兼務)	生活相談員	看護職員嘱託
1名	1名	3名	1名

介護職員	送迎運転手
8名 内1名嘱託	5名(パート)

【考察】

① 事業収入について

延べ利用回数は前年度に比べて毎月減っていた。また、介護の方が予防になられるケースが増え、利用回数も制限される。収入は前年度に比べてわずかなが、増えている。その要因として冬季（11月から2月）の提供時間を長くし、年間通して同じ提供時間としたためである。しかし、予算の額には及ばなかった。口腔加算対象が減っているため、27年度はケアマネジャーとも連携を図り、加算の見直しをおこないたい。

② 個別ケア

入浴の方法を検討し、ゆっくり入浴してもらえよう取り組んだ。外出については喜んでおられる。方法を検討し、外出は継続していく予定である。

③ 職員の資質向上

主な研修には参加できた。また、委員会を活用し、接遇などの資質向上への取り組みをおこなった。

④ 家族との連携

家族会を開催し、介護方法などの情報提供をおこない、介護に対する思いを共有できた。その後も、介護に対する相談をうけている。広報も計画通り、発行でき、情報を発信できた。

⑤ リスク管理

感染予防に努め、インフルエンザやノロウイルスなどの感染症を防ぐことができた。

環境整備をおこない、事故防止にも努めた。

⑥ 地域貢献・地域交流

中学生の職場体験や実習の受け入れをおこなっている。実習は前年度に比べて少なくなっている。

外部との交流が少ないことが課題であり、27年度は地域交流について検討を行う予定である。

デイサービスセンターほほえみ

デイサービスセンターほほえみ 開設日数308日・利用定員12名

ア) 介護保険事業状況 前年対比95.9%(利用回数)

年 度	給付名	利用者数	延べ利用回数	1月利用者	1人提供回数	1月提供回数	1日利用者数
25年度	介 護	281人	2,888回	23.4人	10.3回	240.7回	9.4人
	予 防	18人	115回	1.5人	6.4回	9.6回	0.4人
308日	合 計	299人	3,003回	24.9人	10.0回	250.3回	9.8人
26年度	介 護	264人	2,857回	22.0人	10.8回	238.1回	9.3人
	予 防	6人	23回	0.5人	3.8回	1.9回	0.1人
308日	合 計	270人	2,880回	22.5人	10.7回	240.0回	9.4人

イ) 介護度別利用者数 前年対比90.3%

年 度	要支1	要支2	要介1	要介2	要介3	要介4	要介5	合 計	介護度
25年度	5	13	143	55	39	31	13	299	1.87
26年度	1	5	120	68	42	22	12	270	1.96

ウ) 介護事業収入 計画対比98.3% 前年対比98.1% (単位:千円)

年 度	介護報酬	利用者負担金	食費等負担金	広域連合拡大給付	合 計
25年度	32,720	3,635	2,156	175	38,686
予 算	32,929	3,660	1,940	60	38,589
26年度	31,302	3,478	2,141	1,021	37,942

エ) 事業の実施報告

③ 行事・事業の実施報告

- 4月： 花見ドライブ(町内・木次・三戸屋)
- 5月： カレー作り、軽スポーツ
- 6月： 笹巻き作り
- 7月： おやつ作り (お好み焼き)
- 8月： 七夕飾り
- 9月： 敬老会 (マジック・踊り他)
- 10月： カレー作り、ドライブ
- 11月： おやつ作り (お好み焼き)
- 12月： クリスマス会 (マジック、民謡、踊り)、鍋会
- 1月： 初釜
- 2月： 節分 (ちらし寿司作り)
- 3月： おやつ作り (桜餅)

② 各種研修会及び会議への出席状況

○ 研修会

- ・雲南地域通所介護部会研修会 2回
- ・老施協研修 1名
- ・ケアマネ更新研修 1名
- ・職員全体研修 (救急法・感染症・交通安全)

○ 会議

- ・サービス担当者会 適宜
- ・事業所連絡会 毎月
- ・運営会議 適宜
- ・通所介護部会総会 1回
- ・職員会議 毎月
- ・雲南市ケア会議 1回

職員配置状況（平成 27 年 3 月 31 日現在）

課長(管理者兼務)	看護職員	生活相談員	介護職員	送迎運転手
1名	1名(管理者兼務)	3名(介護兼務)	5名 内臨時3名	2名(パート)

【考察】

① 事業収入について

利用人数が前年度に比べ減っており、特に9月から1月までは入院、入所が多かった。2月に入り新規利用者や退所の方の利用があり若干増えている。現在、食事、入浴にかなり時間がかかる方が数名おられ、個別の対応に時間がかかる。27年度は5月から口腔機能向上加算を算定し、収入の向上に努める。

② 研修について

職員全体研修については参加することが出来た。

③ 感染症他

一年を通して手洗い、うがい、消毒の徹底をしているのでインフルエンザ等感染することがなかった。また、緊急時の対応も早期に家族様が対応され短期間の入院で大きな影響はなかった。

④ 家族会について

8名の参加があり、家族との連携を図った。

居宅介護支援事業所

(Ⅲ) 公益事業

指定居宅介護支援事業

ア) ケアプラン作成数 前年対比104.4%

年 度	介護ケアプラン数	予防ケアプラン数	合 計	1月ケアプラン数
25年度	1,243件	336件	1,579件	131.6件
26年度	1,301件	348件	1,649件	137.4件

※ケアマネ月1名当たり 介護27.1件 予防7.3件

イ) 介護度別ケアプラン作成数

年 度	要支1	要支2	要介1	要介2	要介3	要介4	要介5	合 計	介度数
25年度	121	215	488	373	210	97	75	1,579	1.66
26年度	115	233	536	406	166	132	61	1,649	1.62

ウ) 取扱い件数

①介護給付 前年対比89.9%

年 度	プラン同意	担当者会議	申請・調査	相談他	合 計
25年度	1,217	205	75	2,326	3,823
26年度	1,244	205	94	1,893	3,436

②予防給付 前年対比92.1%

年 度	プラン同意	担当者会議	相談他	その他	合 計
25年度	300	35	220	55	610
26年度	290	39	187	46	562

エ) 事業収入 計画対比90.7% 前年対比105.3% (単位:千円)

年 度	介護報酬	訪問調査委託費	予防業務委託金	合 計
25年度	18,186	307	1,417	19,910
予 算	21,276	252	1,590	23,118
26年度	19,080	379	1,504	20,963

オ) 会議・研修会出席状況

① 会議

- ・居宅ミーティング : 51回 (毎週実施)
- ・居宅サービス事業所連絡会 : 12回 (毎月実施)
- ・運営会議 : 随時開催 (10回開催)
- ・入所判定委員会 (笑寿苑) : 随時開催 (3回開催)
- ・雲南市ケア会議 : 1回
- ・地域ケア会議 : 1回 (5/13事例提出)

② 研修会

- ・島根県介護支援専門員協会研修
- ・雲南地域介護支援専門員協会研修
- ・雲南地域介護サービス事業管理者連絡会 : 居宅部会研修、情報交換会

- ・福祉サービス苦情解決研修会
- ・対人援助職スキルアップ研修
- ・認知症介護実践研修「実践者研修」
- ・キャラバンメイト研修
- ・医療と介護の連携推進（雲南市立病院）
- ・認定調査員現任研修会
- ・訪問看護フェスタ
- ・介護支援専門員研修兼更新研修
- ・モチベーションアップ研修
- ・主任ケアマネフォローアップ研修
- ・雲南協会：医療連携シート作成専門部会

③ 要介護（要支援）認定訪問調査件数（前年117件） 前年対比119.7%

26年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計 140件
	11	14	11	10	11	14	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	7	11	11	13	12	15	

職員配置状況（平成27年3月31日現在） 常勤

課長(管理者兼務)	主任	介護支援専門員
1名 ※1	1名	2名 ※2

※1：主任介護支援専門員

※2：内1名主任介護支援専門員

【考察】

- ①ケアプラン作成数に関しては、大東町も提供範囲としたことが効果となり、前年対比では伸びがみられたが、計画対比は介護も予防も達成できていない。新規依頼については月4件平均で、新規依頼の積極的な受け入れに務めた。
- ②介護度に関しては、軽度の方の増加、重度の方の減少は昨年考察にも挙げているが、軽度化の傾向に変化は見られない。重度の方が病院から直接施設へ入所されるケースが増える傾向にある。
- ③事業収入では、前年対比でプラン作成数が伸びたため収入自体は上回ったが、計画対比では下回った。
- ④事業所内で義務づけられている週1回の会議を見直し、勉強会の時間を持つよう努めた。困難事例の受け入れ義務もあり、包括支援センターからの依頼でケア会議への事例提供をする機会が持て、地域での生活を支えるために必要とされる資源等の話し合いの場にケアマネ全員で参加でき、多職種連携の必要性を共有できた。

かも社会就労センター

◎就労継続支援B型事業所「かも社会就労センター」事業

ア) 利用者の状況 平成27年3月31日現在

利用者数	32名(男性21名・女性11名)	
出身市町村	雲南市加茂町	20名
	木次町	5名
	大東町	6名
	三刀屋町	1名
	掛合町	0名

イ) 利用者の年齢構成

80歳以上	2名	平均年齢 56歳 男性56歳 ・ 女性57歳 最高齢90歳 ・ 最年少25歳
75歳～79歳	0名	
70歳～74歳	3名	
65歳～69歳	2名	
60歳～64歳	10名	
55歳～59歳	3名	
50歳～54歳	1名	
45歳～49歳	1名	
40歳～44歳	4名	
35歳～39歳	3名	
30歳～34歳	0名	
29歳以下	3名	

ウ) 受託加工取引業者と作業内容

- | | |
|----------------------------------|------------------|
| ① 株式会社 山光：自動車部品の加工 | ⑩ 信書便事業 (H25.3～) |
| ② ナカバヤシ株式会社：ファイルの加工 | ⑪ ヒカリ電子：箱詰め作業 |
| ③ 味噌加工事業(合同作業) | |
| ④ (株)ソノ：タオルの袋詰め | |
| ⑤ 施設外就労：笑寿苑・宇寿荘の洗濯・掃除 | |
| ⑥ つつじホール事業(利用料・葬儀準備片づけ等)(H26.4～) | |
| ⑦ 木耳栽培 | |
| ⑧ (株)協栄ファスナー工業：自動車部品の加工 | |
| ⑨ 小早川製粉(有)：蕎麦の実袋詰め等作業(不定期) | |

エ) 業者別加工賃売上高 前年対比83.9% (単位：千円)

年 度	山 光	ナカバヤシ	協栄	ソノ 他	J A	施設外
25年度	1,479	1,953	431	383	273	3,360
26年度	1,518	1,347	563	512	309	1,964
内 工 賃	1,362	1,347	523	474	287	1,964
内 消費税管理費収入	156	0	41	37	22	0
内 経費	0	0	0	0	0	0

年 度	味噌・木耳	信書便	つつじホール	合 計
25年度	323	1,750	1,123	9,952
26年度	563	2,328	1,118	10,222
内 工 賃	303	1,828	0	8,088
内 消費税収入	0	0	0	256
内 経 費	279	427	954	1,660

才) 措置費及び訓練等給付費 前年対比95.2% 計画対比96.0% (単位:千円)

年 度	訓練等給付費	利用者負担金	相談支援	その他収入	合 計
25年度	45,291	134	1,565	500	47,553
予 算	45,189	60	1,732	159	47,140
26年度	42,341	65	2,593	※276	45,275

カ) 行事・事業の実施状況

4月	花見(桜)	10月	研修旅行
5月	花見(牡丹)・交通安全教室	11月	総合防災
6月	総合防災	12月	忘年会
7月	花見(蓮)	1月	新年会
8月	軽スポーツ	2月	健康診断
9月	軽スポーツ	3月	茶話会

◎職員配置状況(平成27年3月31日現在)

課長(管理者兼務)	主任(相談支援専門員)	生活支援員	職業指導員
1名	1名	4名(内2名臨時)	2名(内1名臨時)

【考察】

利用者の利用日数の減少(死亡・入院・病気等)により、訓練等給付費が減収となった。施設外就労(笑寿苑・宇寿荘)の従事者が死亡・入院・病気・高齢等のため減少し、両方の施設外就労の継続が不可能になったため、宇寿荘の施設外就労を中止した。また、ナカバヤシ(株)の主力製品の一般品ファイル製造がベトナムで製造されることとなり、就労センターでは別注品だけの製造となり製造数が激減し工賃収入が減少した。他の作業で量産体制及び単価交渉をして収入が微増したものの、高単価のファイル製造には及ばなかった。

なお、「同一法人内の就労においては施設外就労加算は認められない」との県の指導に基づき、平成27年度から当該加算が算定できなくなる。

信書便事業の収入については、図書館への運搬も増えたため若干ではあるが増収となった。

◎つつじホール事業

ア)利用回数

(回)

年度	ミーティングルーム	研修室	葬儀(研修室の内数)
平成25年度	119	76	73
平成26年度	123	73	72

平成25年度	1,123
平成26年度	1,118

【考察】

利用回数ほぼ昨年並みである。

◎相談支援事業

計画作成者数 : 90件(新規:12件・継続:78件) 前年度:101件

相談支援収入 : 2,593,200円(前年度1,565,150円)前年対比165.7%

【考察】

新規12件にて、該当利用者分のサービス等利用計画作成を完了した。(当事業所達成率100%)

前年度より作成件数の減少が見られるが、これは新規後2年目に入り安定した生活を送っている利用者が多いので、モニタリング期間を長くしたためである。

雲南市との委託契約により、年額120万円の増収となった。

事業収入全体集計(単位:千円)

進捗率:100%

事業所名	実績	前年度実績	計画	前年対比	計画対比
笑寿苑	286,530	281,461	277,798	101.8%	103.1%
笑寿苑短期	37,857	38,417	37,518	98.5%	100.9%
小計	324,387	319,878	315,316	101.4%	102.9%
宇寿荘	215,070	211,427	208,974	101.7%	102.9%
愛あい	25,263	25,363	24,446	99.6%	103.3%
小計	240,333	236,790	233,420	101.5%	103.0%
ヘルプ	29,495	28,603	24,655	103.1%	119.6%
加茂デイ	84,010	83,852	86,174	100.2%	97.5%
ほほえみ	37,942	38,686	38,589	98.1%	98.3%
居宅支援	20,963	19,910	23,118	105.3%	90.7%
小計	172,410	171,051	172,536	100.8%	99.9%
かも就労	45,275	47,553	47,140	95.2%	96.0%
小計	45,275	47,553	47,140	95.2%	96.0%
合計	782,405	775,272	768,412	100.9%	101.8%

加茂健康福祉センター かもてらす

事業 雲南市受託事業(指定管理)

ア)入館者数 (人)

年度	年間人数	1ヵ月平均
平成25年度	36,269	3,022
平成26年度	34,711	2,892

イ)入浴者数 (人)

年度	年間人数	1ヵ月平均
平成25年度	16,719	1,393
平成26年度	16,505	1,375

ウ)会議室等の利用状況 (日)

	年度	研修室	大会議室	休憩室	作業室	栄養指導室
利用日数	平成25年度	147	170	228	264	126
	平成26年度	133	150	225	265	117
稼働率	平成25年度	47.9%	55.4%	74.3%	85.9%	41.0%
	平成26年度	43.3%	48.9%	63.9%	92.0%	38.1%

エ)利用料収入

(千円)

年度	利用料合計
平成25年度	6,359
平成26年度	6,307

オ)雲南市委託金

(千円)

年度	委託金合計
平成25年度	37,089
平成26年度	37,089

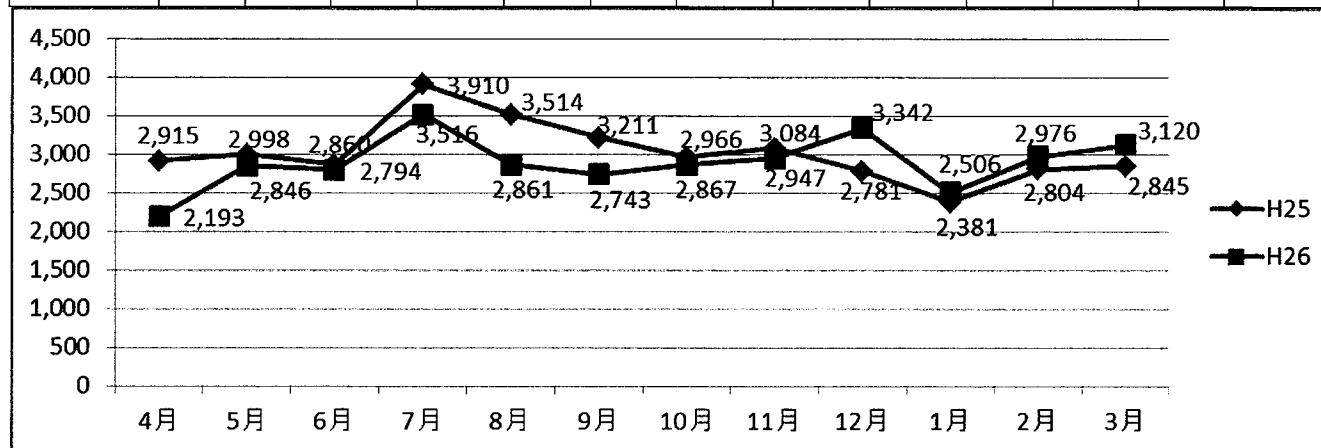
カ)営業日数 (日)

年度	営業日数
平成25年度	307
平成26年度	307

平成 26 年度 加茂健康福祉センターかもてらす 利用状況

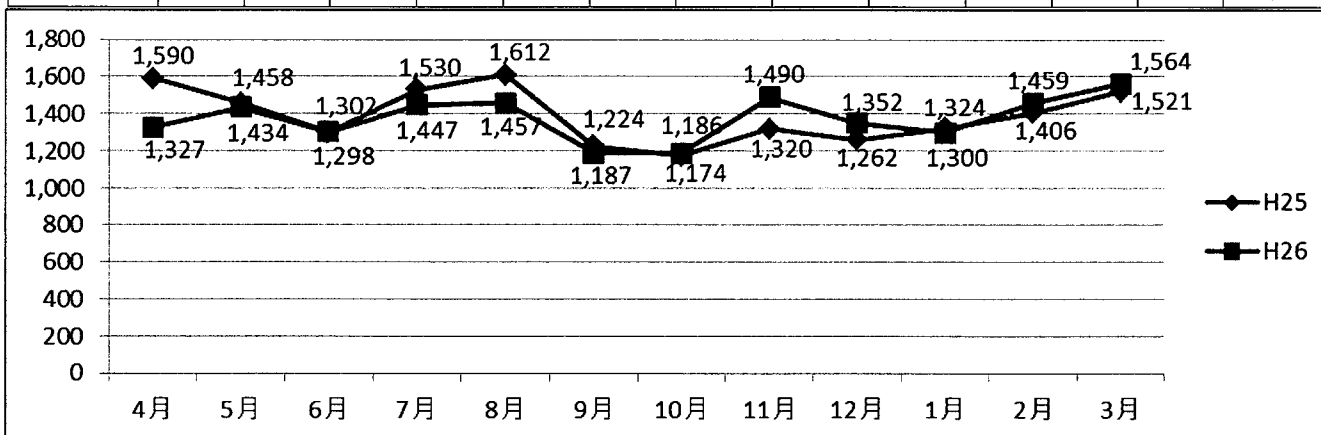
■入館者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H25	2,915	2,998	2,860	3,910	3,514	3,211	2,966	3,084	2,781	2,381	2,804	2,845	36,269
H26	2,193	2,846	2,794	3,516	2,861	2,743	2,867	2,947	3,342	2,506	2,976	3,120	34,711



■入浴者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H25	1,590	1,458	1,298	1,530	1,612	1,224	1,174	1,320	1,262	1,324	1,406	1,521	16,719
H26	1,327	1,434	1,302	1,447	1,457	1,187	1,186	1,490	1,352	1,300	1,459	1,564	16,505



【考察】

入館者数は前年対比 95.7%で、このため入浴者数、会議室等の利用も減少している。ただし、入浴者数については、年後半から増加傾向になってきている。また、RDF 燃焼炉は、特に大きなトラブルもなく運転できた。